

*青少年育成委員会とは・・・

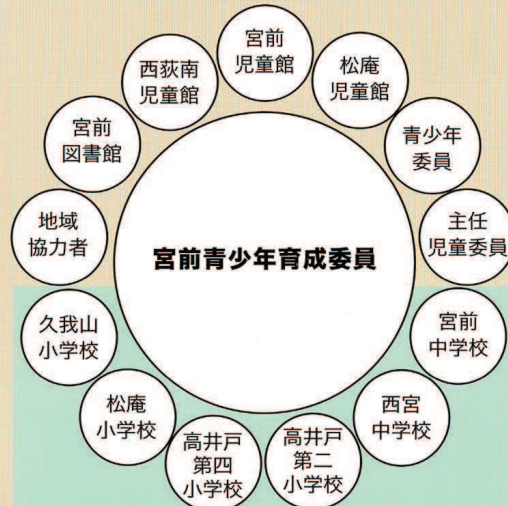
現在杉並区には17カ所の育成委員会があり、地域社会に根ざした自主的団体として、地域社会の総力を結集し、青少年の健全育成を図ることを目的として活動しています。

青少年の余暇を利用したの文化的・スポーツ的な諸行事の実施や、青少年に有害な社会環境浄化のための非行防止及び啓発活動、青少年問題に関する地域的な広報紙の発行、地域の各種団体の連絡調整活動などを行う委員会です。

私たち宮前青少年育成委員会は「みんなの笑顔を地域に！」をスローガンに活動しています。



【宮前青少年育成委員会 組織図と主な活動】



※小学校と中学校のメンバーは校長先生・PTAです。

- 常任委員会
- カヌー教室
- スケート教室
- 体験教室
- 手づくり教室
- 地域協力事業
- 委員研修
- 広報紙発行
- 有害環境改善活動

地域協力事業

●高井戸第二小学校PTA	「高二小に泊まるう会」	7月29～30日
●高井戸第四小学校PTA	「水遊びイベント」	8月23日
●松庵小学校PTA	「松庵親子夏まつり」	7月21日・22日
●久我山小学校PTA	「学校で遊ぼう会」	9月30日
●宮前中学校PTA	「宮前スマイル広場2023」	11月25日
●西宮中学校PTA	「西宮冒険記アドベンチャー」	11月25日
●宮前児童館	「みやまえ秋のチャレンジウォークラリー」	10月21日
●西荻南児童館	「西荻南防災子どもまつり」	11月12日
●松庵児童館	「たぬぼんランド」	12月5日・6日・7日

育成委員会だより

みやまえ

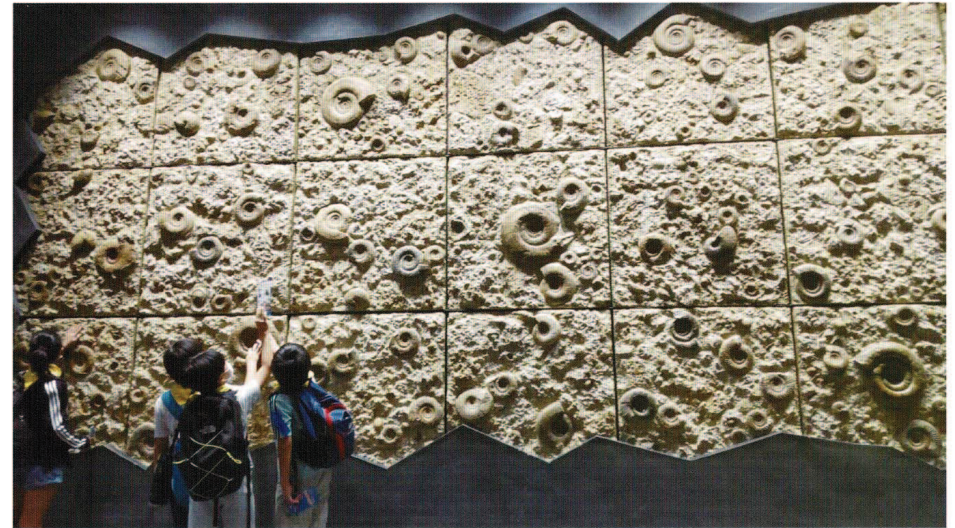
みんなの笑顔を地域に！

第25号

令和6年3月

宮前青少年育成委員会

発行責任者 多々納 誠子



神奈川県立生命の星・地球博物館 アンモナイトの壁

地域とともに子供たちの成長を支える学校を目指して

杉並区立高井戸第四小学校 校長 本橋 忠旗



令和5年度より、新しく杉並区立高井戸第四小学校校長に着任いたしました本橋忠旗と申します。杉並区で生まれ育ってまいりましたが、今回初めて校長職としての勤務となります。昨年9月には、近隣のお祭りでお神輿を担がせていただく貴重な経験もでき、地域の皆様のエネルギーを肌で感じる事ができました。

校長職となって改めて感じることは、学校の教育活動は教職員だけでなく、青少年育成委員会の皆様を始めとして、学校支援本部や子供たちの健全な成長を願う多くの関係団体の皆様のご協力のうえに成り立っているということです。子供たちが自分の将来に希望と勇気をもって小学校を卒業できる教育活動に尽力してまいりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この一年をふりかえって

宮前青少年育成委員会 会長 多々納 誠子



宮前青少年育成委員会では本年度、生命の星・地球博物館見学とひのきボールに絵付けをする体験教室、いろいろな布や糸の素材でアート作品を作る手づくり教室、神宮に引率してのスケート教室など、子供たちの思い出に残るイベントを、コロナ前とほぼ同じように開催することができました。また有害環境を取り除く活動として講演会やごみ拾いパトロールも行いました。

管内の4小学校と2中学校の保護者委員の方々に、各事業にご協力いただき、充実した地域活動ができたことを大変感謝しております。これからも地域の子供たちの好奇心を刺激するイベントを企画し、宮前青少年育成委員会の伝統である子供たちを地域で笑顔にすることを目指して、皆様と協力して頑張りたいと思います。

手づくり教室

- 実施日：令和5年7月29日（土）
- 場 所：高井戸第二小学校
- 参加者：小学生56名 委員22名
- 指導者：ゆにここさん（アーティスト）
他2名（財団法人カルチュラル）

昨年度に引き続きアート系のワークショップを開催しました。初めに移動美術館で様々な柔らかい素材を使った大きな立体作品を見たり触ったりしました。そのあと感じたままに子どもたちは好きな触感や形でからだを作り、カラフルなパーツを

自由に貼り付けながら個性豊かな表情のいきものを作りあげました。コロナ禍で物に触ることを制限されて



いた子どもたちが、思いっきり触感を楽しんでいる様子とはとても楽しそうで見守る大人たちも幸せな気持ちになりました。



体験教室

- 実施日：令和5年9月9日（土）
- 場 所：神奈川県立生命の星・地球博物館
小田原市観光交流センター（絵付け会場）
- 参加者：小学生34名 委員12名

台風による前日の大雨で天気心配されましたが、当日は曇り空の体験教室日和。子どもたちは笑顔で朝早く集合しました。バスに乗り、最初に訪れたのは生命の星・地球博物館、展示物に触れることができる施設です。恐竜の全身骨格標本や隕石に圧倒されながらも、感

触を確かめながら館内を巡りました。昼食後は小田原市観光交流センターにて、ひのきボールの絵付け体験です。地元名産の松で作られた球に色を塗り、個性豊かな作品を作り上げました。実際に触れたり手を動かしたりで充実した日になったことでしょう。



スケート教室

- 実施日：令和5年11月23日（木・祝）
- 場 所：明治神宮外苑アイススケート場
- 参加者：小学生98名 中学生4名 委員30名
- 指導者：杉並区スケート連盟指導員 10名

秋も深まりヒンヤリとした早朝、眠い目をこすりながら千駄ヶ谷駅に向かって出発。リンク場の寒さに「ヒャー!」、初めて履くスケート靴に苦戦しつつ、杉並区スケート連盟の方々による指導が始まります。初心者、歩きながら靴と氷の上の感覚を確かめながら進み、経験者はより高度なレッスンを受け、皆真剣な表情で取り組んでいます。

す。フリー滑走ではリンク全体を使い、風のように滑っていく姿も見られました。初めて会った子と笑顔でワイワイと滑ったり、転んでしまった子を気遣う姿も見られました。学校を超えた交流を喜ぶ声が聞かれたことはとても嬉しく、この活動を支えてくださった全ての方々に感謝の1日となりました。



みんなの声

プテラドンが思ったより大きかった



温暖化について学べた



ひのきボールをお風呂で使いました

立つことも無理だったのに、滑れるようになって楽しかった



あまり上手に出来なくて悔しかった

いっぱい転んだけど楽しかった



友だちが2人できた

友だちと出来るフリー滑走の時間があって楽しかった

経験者クラスの速さ比べが楽しかった



次はお母さんと来たい

有害環境改善活動

- 実施日：令和5年10月13日（金）
- 場 所：高井戸第二小学校 ランチルーム
- 参加者：委員20名
- 指導者：NPO法人チャイルド・ファンド・ジャパン/事務局長 武田勝彦氏

「子どもへのオンライン性暴力」をテーマに講演会を行いました。子どもの守られる権利や、昨今の子ども政策への期待をお話されたうえで、犯罪として認知されている数は氷山の一角でしかないという現状にも触れられました。加害者の接近方法である「グルーミング」については、LINEでのやり取りの例を挙げて分かりやすく説明いただきました。最後にまわりの大人は「被害者である子どもを責めない、悪いのは加害者」ということを忘れないうで欲しいと強く言われていたのが印象的でした。講演会の後は、高二小周辺のパトロールとゴミ拾いをしました。



委員研修

- 実施日：令和5年6月9日（金）
- 場 所：クリクラ町田工場・オギノパン工場
- 参加者：委員17名

今後の事業の候補地として2か所の実地踏査を行いました。クリクラ町田工場では水の微生物検査施設、ろ過工程を見学し、硬水と軟水の飲み比べも体験しました。また水ギャラリーでは宝石のような世界の様々なペットボトルに驚かされました。昼食後訪れたオギノパン工場では、最新多機能設備を導入した製造ラインを見学し、併設された直販店では出来立てのパンを購入することができました。委員間の親睦も深まり、有意義で楽しい研修でした。

